

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	スレッシュホールド	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.510	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

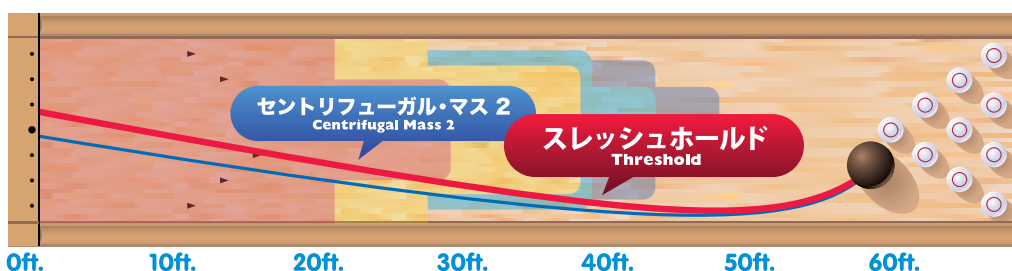
比較対照ボール：セントリフューガル・マス2

フレアーの幅 インチ

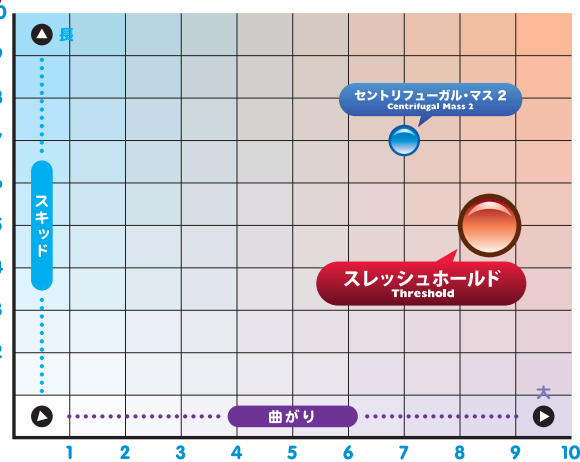
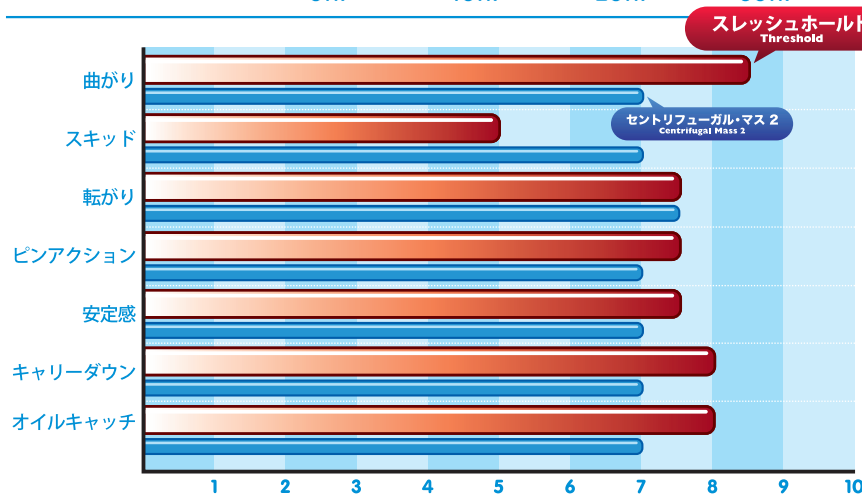
PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

実際に投球してみて、明らかにこれまでのダイノタン社のボールとはパフォーマンスの出かたが違いました。特にこのスレッシュホールドで使用されている Single Density Asymmetric Core は、**ダイノタンで最強を打ち出していたセントリフューガル・マスコアよりねじれ感が強く、さらに強いモーションポテンシャルを感じます。**新素材の NexGen Reacrive cover with Micro Particle との組み合わせも絶品で、オイルに対しての強さが際立つ逸品に仕上がっています。逆にオイルの薄いコンディションでは手前から起き上がろうとする力が強く働き、バックエンドでの動きに影響を及ぼすようです。曲がりのイメージはストロング・アークにメリハリ感を加えたリアクション性能で、緩やかにキャッチしながらの転がりを見せている為、キャリアダウン時やオイルの厚いコンディションでもボールの軌道が読みやすいイメージがあります。注意しなければいけないのは、自分のボールをどこでフック状態に持ち込むのかでボールのリアクションのイメージが変わります。そのポイントが手前なのか奥なのかでピン及びマスバイアスのセットが異なりますので、自分のボウリングを良く理解しているドリラーと相談されるのが良いでしょう。**米誌の「Bowling This Month」6/7号でこのスレッシュホールドが紹介され、非常に高いレベルでの評価を得ています。**それだけ完成度も高くダイノタンで今までにない性能をだせている証拠でもあるということでしょう。

特記事項

発売前から反響が出ている為、数量確保が困難を極めそうです。オイリーなコンディションで使用するボールをお考えの方にしようしていただきたいボールです。